

一味違う！

大阪府で働く魅力を聞きました

司書職 編



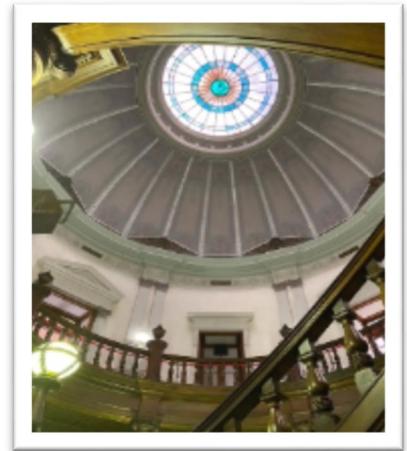
その1 「蔵書数日本一の公立図書館」と「重要文化財で運営する図書館」

- ・ 府立図書館では、幅広い分野の資料を収集するほか、古典籍や外国語資料など、専門性の高い資料もたくさん所蔵しています。
- ・ カウンターでのレファレンス（調査相談）業務だけではなく、多種多様な資料を集めて整理する収集業務、府内市町村を中心に全国の図書館ネットワークをつなぐ協力業務、子どもや障がい者の読書活動を支援・推進する業務等、幅広い役割を担っています。
- ・ 蔵書数日本一の公立図書館である「中央図書館」と、重要文化財の建物で明治37年の創設以来現在も図書館として運営する「中之島図書館」、どちらも魅力たっぷりです。

先輩の声

- ・ レファレンスについては、全国から調査依頼があります。
- ・ 仕事をしながら、幅広い分野を学ぶことができます。
- ・ 経験豊かな先輩職員から OJT で経験を積むことができるので安心です。
- ・ 美術鑑賞やスポーツ経験等、これまでの様々な経験が、レファレンス業務で役立ちました。
- ・ 好奇心旺盛で色々なことに興味がある人には、特にオススメ！

(右) 府立中之島図書館 中央ホール



その2 府立高校や府内の小中学校への学校支援にも 注力

- ・ 高校生向けの図書館講座付き見学プログラム「LibCo（りぶこ）」では、図書館で調べ物をする際のコツ等を伝えるだけではなく、絵本の読み聞かせレッスンもしています。
- ・ 府内の小・中・高等学校等を対象に休館日に図書館をまるごと開放する「スクールサービスデー」や、中学生を対象とした体験学習・職場体験支援、学校等への図書の貸出しにも積極的に取り組んでいます。



その3 職場内での研修が 充実

- ・職場内では、館内整理日に先輩職員が若手職員にレファレンス対応のコツを伝授する研修や、外部講師を招いて各種研修を行うなど、採用後も学ぶ機会が充実しています。
- ・そのほか、文部科学省や日本図書館協会等が主催する館外の研修にも参加しやすい環境づくりを行っています。
(外部研修で学んだことの伝達研修をすることで、職場内にもフィードバック！)

先輩の声

- ・研修制度については入庁してから知りましたが、心強いと感じました。
- ・外部の研修講師をするときも、先輩職員からの手厚いサポートがあり、安心して臨めました。
- ・先輩職員による技能伝達の研修等では、課題が課せられることもあるので大変ですが、**確実に自分の力になっていることが実感**できます！



府立中之島図書館 デジタル情報室



府立中央図書館 地下書庫

教えて！



Q. 府立図書館での司書職の役割は？

A. 府立図書館では、図書館の定型的な業務を外部委託するとともに、施設の維持管理やにぎわい創出にかかるイベント運営、ホールや会議室の利用促進等については、指定管理者制度を活用しています。府の司書職は、図書の選定や購入、市町村や民間団体との連携など、図書館の基幹業務を担っています。

府職員	外部委託業者	指定管理者
<ul style="list-style-type: none"> ・図書資料の保存や蓄積 ・図書の購入及び寄贈図書の選書 ・府民の調査研究活動の支援（レファレンス） ・市町村図書館職員の人材育成や支援 ・図書館間の物流ネットワークの運営 ・教育庁や民間団体等との連携事業 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書資料の貸出・返却 ・図書資料のデータ入力 ・利用者登録 ・複写サービス ・書庫出納や書架整理、蔵書点検の実施 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持補修 ・ホールや会議室、駐車場の運営、利用促進 ・にぎわい創出にかかるイベント運営 <p style="text-align: right;">など</p>